

財務会計Ⅰ 臨時休業中課題

この課題は全商簿記3級（1年生の簿記）の復習です。わからないところは1年生の時に使っていた問題集・教科書『新簿記』を活用してください。5月からよいスタートにするために必要な課題です。しっかりやりましょう。

解答は別紙に記入するか、家で用意した紙に記入してください。



1. 資産・負債・純資産

① 資産

財貨や債権（将来、一定金額を受け取る権利）＝**お金になるもの！**

現金	紙幣や硬貨などの金銭
売掛金	商品を掛け売り（代金を掛け売り（代金を後日、受け取る約束で売り渡すこと）したとき、その代金を受け取る権利
貸付金	他人に金銭を貸し付けて、後日、返済を受ける権利
備品	パーソナルコンピュータ。コピー機・商品陳列ケース・営業用の机・いす・金庫など
建物	店舗や事務所などの建物
土地	店舗や事務所などの敷地

② 負債

債務（将来、一定金額を支払わなければならない義務）＝**後でお金払わなきゃだよ！**

買掛金	商品を掛け仕入れ（代金を後日、支払う約束で仕入れること）したとき、その代金を支払う義務
借入金	銀行などから借り入れた金銭を、後日、返済しなければならない義務

③ 純資産

資産－負債＝純資産（資本等式）

「資本金」

2. 収益・費用

① 収益

経営活動によって、純資産が増加する原因。＝**お金が増えた原因**

売上	商品を売り渡したときの販売価額。
受取手数料	商品売買の仲介などによって受け取った手数料
受取利息	貸付金や預金などに対して受け取った利息
受取家賃	所有する建物を貸して受け取った家賃

② 費用

経営活動によって、純資産が減少する原因。＝**お金が減った原因**

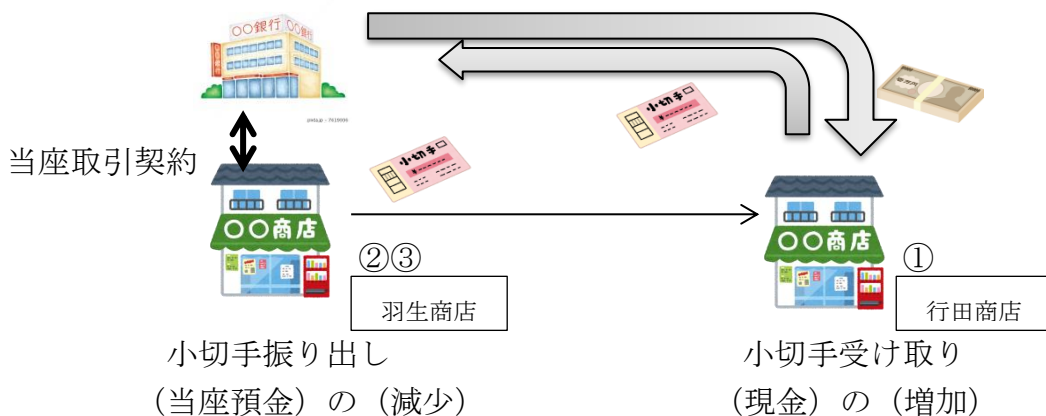
仕入	商品を仕入れたとき。引取運賃などの仕入諸掛は、仕入原価に含める。
給料	従業員に支払った給料
広告料	新聞・ちらしなどの広告料
交通費	電車賃・バス代・タクシー代など
通信費	はがき・切手などの郵便料金や電話料金など
支払家賃	借りている店舗や事務所などの家賃
支払地代	店舗や事務所などの敷地の賃借料
水道光熱費	水道料・電気代・ガス代など
雑費	新聞の購読料やお茶代などで特定の項目に入らない諸費用
支払利息	借入金に対して支払った利息
消耗品費	帳簿・伝票・コピー用紙などの事務用品代金など
保険料	店舗の火災などに備えてかける保険の料金
修繕費	店舗の照明器具の取り替え備品などの修繕の費用

問1 以下の勘定科目を「資産」「負債」「純資産」「費用」「収益」に分類しなさい。
ただし貸借対照表・損益計算書、それぞれのTフォームに勘定科目を記入すること。

現金	売掛金	給料	買掛金	借入金
仕入	受取家賃	消耗品費	受取利息	通信費
修繕費	売上	発送費	広告料	交通費
受取手数料	支払利息	貸付金	支払手形	備品
資本金	水道光熱費	受取手形	土地	当座預金
支払地代	建物	支払家賃	保険料	雑益

3. 当座預金(資産)

小切手の振り出し（必要事項を記入して発行すること）などによって、いつでも引き出しができる預金。銀行から審査を受けて開設する。無利息の預金。



問2 以下の仕訳を示しなさい。

- ①羽生商店から売掛金の回収として、¥60,000を同店振り出しの小切手で受け取った。
- ②当座取引契約を結び、現金¥100,000を預け入れた。
- ③行田商店に対する買掛金¥60,000を、小切手を振り出して支払った。

4. 仕入(費用)・売上(収益)

問3 以下の一連の仕訳を示しなさい。

1/10 練馬商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A品 100個 @¥200 ¥20,000

B品 200個 @¥300 ¥60,000

1/12 練馬商店から上記の商品について、次のとおり値引きを受けた。

A品 100個 @¥20 ¥2,000

1/20 豊島商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。なお、引取運賃¥4,000は現金で支払った。

A品 200個 @¥230 ¥46,000

問4 以下の一連の仕訳を示しなさい。

1/9 秋田商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A型電卓 40台 @¥2,000 ¥80,000

B型電卓 30台 @¥1,500 ¥45,000

1/17 上記商品のうち、B型電卓2台が品違いのため、返品された。

1/25 福島商店に次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取った。なお、発送費¥1,000は現金で支払った。

A型電卓 20台 @¥2,000 ¥40,000

5. 受取手形(資産)と支払手形(負債)

約束手形は、振出人(支払人)が名あて人(受取人)に対して、一定の期日に手形金額を支払うことを約束する証券。

問5 以下の仕訳を示しなさい。

①商品¥100,000を売り渡し、代金として約束手形を受け取った。

②取引銀行に取り立てを依頼していた約束手形¥100,000が、本日満期となり、当店の当座預金に入金されたとの通知を受けた。

③商品¥100,000を仕入れ、代金として約束手形を振り出した。

④さきに振り出していた約束手形¥100,000が、本日満期となり、当座預金から支払った。

6. 決算整理

1 商品売買に関する勘定の決算整理

問6 以下の仕訳を示しなさい。

①期首商品棚卸高¥50,000を、繰越商品勘定から仕入勘定の借方に振り替える。

②期末商品棚卸高¥60,000を、繰越商品勘定の借方と仕入勘定の貸方に記入する。

2 貸し倒れの見積もり

問7 以下の仕訳を示しなさい。

決算にあたり、売掛金勘定残高¥560,000に対して5%の貸し倒れを見積もった。
ただし、貸倒引当金勘定に¥3,000の残高がある。

¥25,000入れる



貸倒引当金 ¥28,000にする！

$(¥560,000 \times 5\%) - ¥3,000$

差額補充法…当期に見積もった額から、貸倒引当金の残高を差し引いて差額を計上する。

3 減価償却費（費用）

建物・備品・車両運搬具などの固定資産

使用したり、時が経過するにつれ、その価値は減少していく。

$$\frac{(\text{取得原価}) - (\text{残存価額})}{(\text{耐用年数})}$$

問8 以下の仕訳を示しなさい。

①取得原価¥420,000 残存価額は零(0) 耐用年数 12年の備品の減価償却費を、定額法で計算しなさい。

②取得原価¥3,000,000 残存価額は零(0) 耐用年数 5年の建物の減価償却費を、定額法で計算しなさい。

問9 以下の決算整理仕訳を示しなさい。

a. 期末商品棚卸高 ¥648,000 (期首商品棚卸高 ¥594,000)

b. 貸倒見積高 売掛金残高 ¥1,500,000の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
ただし、貸倒引当金勘定に¥15,000の残高がある。(差額補充法)

c. 備品減価償却高 取得原価¥1,260,000 残存価額は零(0) 耐用年数は6年とし、
定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

d. 現金過不足勘定の¥2,000は雑益とする。

e. 引出金勘定の¥30,000は整理する。